

# 緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年9月23日 No.34

## 2024 国際鉄道安全会議③

### 職場議論から安全文化をつくり出す決意を発信！

最終日、第3セッション「安全文化：移行期の安全」の中で、加藤委員長が「安全よりも運行優先体質が鉄道業に何をもちたすか？職場で感じる疑問から目を背けず『責任追及から原因究明へ』の安全哲学の再確立をめざし、安全第一の職場風土をつくりだそう！」と題して、問題意識を発信しました。参加者から「良いプレゼンだった」「現場からの視点が良い」等の声をいただきました。



#### 問題意識【要旨】

効率化の進行と共に技術力が低下、事故の事前防止も発生主義に切り替わっていると思わざるを得なく、強い危機感を持っている。また、昨年末に「新幹線を止めない、遅らせない」「利益の最大化に向けて構造改革に取り組むと共に増収・コストダウン」を続け『稼ぐ』ことにこだわる」と掲示がされて以降、トラブルが後を絶たない。職場で感じる疑問から目を背けずに安全哲学の再確立を図り、安全第一、現場第一の企業風土を創っていく。

今年の国際鉄道安全会議は、35カ国から300名が参加して行われ、プレゼン含めた発言者89名から幅広いテーマで取り組み報告、問題提起が行われました。その中で、JR東労組は職場現実に即して2つのテーマで問題意識を発信することができました。

世界は、科学技術の進展の中で大きな変化を迎えています。JR東労組として職場の現実から目を背けずに「責任追及から原因究明」の安全哲学の再確立を図り、安全第一、現場第一の企業風土を創っていくために全組合員でたたかいを推し進めていきましょう！



## 職場で発生した事象を真正面から受け止め 原因究明委員会を通じて対策を打ち出そう！